

愛知医科大学を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	Rapid Response System (RRS:院内急変対応システム)・院内心停止に関する多施設合同レジストリ研究について
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇学
担当科等	周術期集中治療部
研究責任者	教授(特任) 藤田義人
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター 担当医師: 藤谷 茂樹
研究の意義・目的	当周術期集中治療部では、入院中の患者さんの病態が急に悪化し不安を感じた場合に担当の看護師が周術期集中治療部内にあるRRS(院内急変対応システム)に相談することができます。過去に当病院に入院中に急変し周術期集中治療部で治療された方、もしくは周術期集中治療部医師に相談された症例のデータを利用して、上記の研究を行うことといたしました。この研究は、入院中の患者さんが急変した際に予期せぬ死亡につながるような臨床兆候(意識変化、血圧変化、呼吸数変化など)について明らかにすることを目的とし、皆様の今後の治療にも役立つことができると考えています。
対象となる患者さん	倫理委員会承認から2023年7月までにRRSに相談をされた患者さん
研究の方法	当院のRRSシステムを利用して相談された症例を、インターネット上に登録します。この研究に参加している日本の他の病院のデータも合わせて集計し日本でのデータを集積し、患者さんの急変を予測、対応するための臨床兆候(意識変化、血圧変化、呼吸数変化など)を検討します。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2023年7月31日
研究に用いる情報	情報: 患者さんの年齢、性別、急変した際の意識、心拍数、血圧、呼吸数などバイタルサイン。病名、治療など。
外部への情報の提供	インターネット上に匿名で登録する。
情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年7月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学

	医学部麻醉科・周術期集中治療部 担当者：教授（特任） 藤田義人 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 37703）
--	--